Press Release

2026年9月25日 10時00分
日本リユースシステム株式会社

報道関係者各位

新シリーズ】想いdeランドセルサービス開始

2026年9月自立支援型・寄付つきお片づけ商品「想いdeランドセル」専用回収キットの販売を開始いたします。ご家庭に眠るランドセルを海外へ贈ることで世界の子どもたちの学びにつながります。

日本リユースシステム株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：山田 正人)は、2026年9月 自立支援型・寄付つきお片づけ商品「古着deワクチン」の姉妹シリーズとして新商品「想いdeランドセル」(専用回収キット税込み5,500円)の販売を開始しました。





想いdeランドセルとは、卒業して使わなくなったランドセルや学用品を、まとめて送ることで
想いの整理ができるだけでなく、海を越えて世界の子どもたちに「学びへの第一歩」を届けることができる自立支援型のお片づけ商品です。
送られたランドセルはカンボジア国を中心に再販売され、現地の雇用にもつながります。
また、カンボジア各団体への寄付も行っています。
HP:https://omoiderandoseru.jp/

想い de ランドセルでつながる社会に良いこと

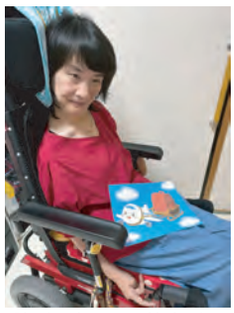
・専用回収キットは、全国の福祉作業所にてひとつひとつ丁寧に梱包・発送。国内の障がいのある方の自立支援につながる。
・お送りいただいたランドセルや学用品は、木更津市の想いdeランドセルセンターで選別・輸出準備されます。フィリピン女性の雇用創出につながる。
・輸出されたランドセルはカンボジア直営センターを中心に販売され、現地スタッフの雇用創出につながる。現地スタッフは障がいを持つ若者やストリートチルドレンだった若者を雇用。
・専用回収キットに障がい者アート協会所属アーティストを起用。キット販売個数に応じて、著作権料をお支払いすることで、障がいがあっても世界で活躍したいアーティストの芸術活動支援につながる。(起用アーティスト：脳性麻痺の障がいがある加藤久美子さん)
・不要になったランドセルや学用品はゴミとして廃棄されるのではなく、リユースされるため環境に配慮した手放し方につながる。



カンボジア国で再利用される


木更津市選別センターで働く
フィリピン人女性


カンボジア国直営センター
スタッフ


障がい者アート協会所属
アーティスト加藤久美子さん





■寄付実績

カンボジア国各州の小学校へランドセルを贈呈し累計8,023個を寄付しました。
カンボジアでは、ランドセルや学用品の販売を通じて現地の雇用創出につなげています。
一方で、依然として教育インフラが十分でない地域も多く、通学に必要な道具を揃えることが難しい家庭も少なくありません。そのため私たちは、販売に加えてランドセルの寄付も継続し、子どもたちの学びを支えています。



■ご利用方法（動画）



「使わなくなったランドセルをなんとかしたいが、捨てたくはない」というお客様のお声から、本シリーズは誕生いたしました。日本製ランドセルの耐久性を活かし、開発途上国の教育環境改善に寄与する新企画。廃棄物削減と国際支援を同時に実現する取り組みとして注目が期待されます。

【運営企業】

日本リユースシステム株式会社